

ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 35

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

ウムチョムゥイーザ学園から

ハッピー ロージャス 教頭より



【はじめまして】

ウムチョムゥイーザ学園を支えてくださっている皆様に感謝申し上げます。

そして、家族にとって大切な子ども達をウムチョムゥイーザ学園に託して下さった保護者の皆様そして、当学園で一生懸命勉強し、努力した子ども達にも「ありがとう」と感謝します。当学園の運営のために、経済的・技術的な支援を惜しまずに与えてくださっている日本の皆様の寛大なご協力に感謝いたします。それらの支援によって、貧しくて授業料を払うことが出来ない子ども達の教育にも尽くすことが出来ました。

2013年1月に教頭として着任しました。ウムチョムゥイーザ学園で過ごして6ヶ月が経ちました。この学園で感じたことをお話しさせていただきます。

まずはじめに、小学校卒業資格国家試験で毎年5位という素晴らしい成績を修めているこの学園のレベルが高いことに驚いています。この良さを地域に知ってもらってさらに子どもの数が増えることを祈っています。良く気づき・やる気があり、目標があってチームワークの素晴らしい先生方がこのレベルの高さを保っていることに感謝したいと思います。

さて、子ども達の将来を考えるとずっと英語を学校内で普段の会話から活用する必要性を感じています。なにげない日常の会話から授業まで、ルワンダ語から英語に変えて積極的に英語を使う必要性を感じています。保護者も子どもが流暢な英語を話すのを聞きたがっています。この家庭のニーズを察して学園がその答えを見つけてあげればたくさん子ども達が学園に集まると思います。

また、課題としては、子ども達の衛生管理に対する意識づけに力を入れて行きたいと感じました。今のところは30%くらい子ども達が清潔にするという態度が身に着いていると思います。さらに子ども達をとりまく環境として薬物の危険性・エイズ問題・未成年の妊娠など保健教育を充実する必要があります。そのためにも保護者の方々と話し合いながら、どのように子ども達の命を大切にする教育をしていくのか環境を整えて行きたいと思います。

今後、さらに学校のレベルアップにつながる環境づくりに取り組み、いろいろな行事を企画し、学校の良さを保護者や地域社会にテレビやラジオなどに取材してもらう機会を増やして発信していく活動に取り組んでいきたいと思っています。



内戦から20年近く経ち、ルワンダは平和と発展をめざしています。そのためにもウガンダやケニアなど英語圏との交流がますます盛んになっていくと考えられます。礼儀正しく英語を話せる子ども達を育てているウムチョムゥイーザ学園であることを積極的にキガリの町でアピールしていきたいと思っています。

東日本大震災で大変ご苦労なさっていることと思いますが、ウムチョムゥイーザ学園の教頭として共に子ども達の成長を支えて明るい未来になるように全力で頑張っていきたいと思っています。

2013年1月1日～4月22日の学費の納入状況の報告

単位：人 *時価換算による。単位：円

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	15	12	10	6	6	8	12	7	6	82	816,638
その他	5	14	15	15	14	19	23	25	24	154	802,109
0%	0	2	6	5	3	6	4	5	3	34	0
合計	20	28	31	26	23	33	39	37	33	270	1,618,747
予算額											2,688,930
不足金額(日本からの支援額)											1,070,183

※ 1学期 65,000 ルワンダフラン (約9,959円)

時価換算のため日によって目減りしたり・・・送金時期がむずかしいです。



ウムチョムイーザ学園の会計報告 2013年1学期(1月1日～4月22日)

〔収入〕

〔支出〕

円換算

項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費	1,618,747	職員への給料	1,765,510	銀行へ返済	74,929
考える会からの支援	1,703,510	光熱水費	31,051	税金	31,588
入学登録料	27,142	通信費	5,502	給食室建設費	767,034
バス運行収入	50,006	消耗品・印刷代	65,245	奨学金	9,146
水販売収入	0	車の維持費	94,458	治療費	693
家畜収入(やぎ・うさぎ)	0	研修会議費	93,669	備品	222,002
その他の収入	375,471	設備維持経費	188,396		
個人寄付	29,502	その他の経費	70,052		
他の NGO からの寄付	0	先生へ貸し出し	29,502		
技術学校準備金借入	32,452	技術学校準備金	32,452		
繰越金	67,343	小計	2,375,837	小計	1,105,392
合計	3,904,173			合計	3,481,229

差し引き 422,944

新潟からの給食プロジェクト支援

【建設中の給食室】

2011年12月より送金開始



2012. 3. 10



2012. 9. 4

屋根の次に
何が出来るのか
楽しみです



2013. 5. 17



2013. 5. 13

てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」と呼ばれている照子さん(当会理事斎藤照子 2012年8月28日からルワンダ在住)の近況をお知らせします。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さん、こんにちは！

シンプルな生活をおくっています。

ルワンダへ移住してから、早半年になります。本当にアツというまに過ぎてしまいました。日本に居る時には、各種の新聞に目を通し、TVはニュース、ドキュメント番組などを見ていましたが、ルワンダでは一切触れておりません。知ろうと思えばPCで知ることができるのに、その気にならないので、そのまま過ごしております。正誤ごちゃまぜの雑多な情報に触れないだけ、心が開放されてすっきりして気持ちが良いです。日本に限らず、先進国と称する国には、あらゆる面で必要としないモノが多すぎますね。もっとシンプルであれば、却って健全な心身になり、生き易くなるのになあと思います。

さて前置きはこのぐらいにして、ルイズさんが帰ってから私が最初に試みたのは、生活のリズムをきちんと整え、自分のペースで過ごすことです。健康の土台となる食事のリズムを整えることは、私にとってとても大切なことです。こちらでは、食事の時間が遅いので、それを私の時間に合わせて頂くために、言葉で説明できないので、食事の用意がされてなくても、毎食同じ時間に顔を出しました。申し訳ないと思いつつも、体をこわして迷惑をかけることよりはと申すのでした。



今では、すっかり私の食事時間が定まって、皆さんの食事が私の時間に近寄って来たようです。現在は、ピアノのレッスン、キニアルワンダ語の勉強、読書、瞑想、散歩、昼寝おさぼりタイムなど、自分に必要な時間配分がその日によって定まって、飽きることはありません。



下宿にいる二人の男の子が「ドレミの歌」のメロディーが弾けるようになって、私が左手で伴奏して一緒に弾くと、得意満面で「ブラボー！」と叫びます。実に可愛いです。

私の生活はとてもシンプルですが、毎日、心豊かに過ごせることがどんなに素晴らしいことか。どの人の心の中にもその人なりの幸せの「タネ」はあります。心が雑多なモノに占領されていてその「タネ」が芽生えられないだけでしょ。

体のダイエットよりも、心のダイエットこそ大切ではないでしょうか。

2013.2.22

—お知らせ—

学園建設・運営から13年になりますが、授業料の払えない子ども達も払える払えないかではなく先着順で受け入れているため、先生方への給料等運営には日本からの支援に頼っているのが現状です。

学園には、自立できる道を努力していただいています、趣旨を御理解いただき今後とも支援をお願いします。

正会員年5,000円賛助会員年10,000円を随時募集しております。ぜひ活動にご参加ください。

月一口500円からのご寄付も100人を目標に募集しています。申込み用紙は当会ホームページにも掲載しております。

ルワンダ MARABA コーヒー



このコーヒーはの収益金は、ルワンダに建設中の学校、ウムチョムイーザ学園の建設及び運営費用となります。

NPO法人ルワンダの教育を考える会

商品名	ルワンダ マラバ コーヒー
商品規格	ルワンダコーヒー(粉)
賞味期限	1年
原 材 料	アラビカコーヒーブルボン種
特 徴	コーヒーはルワンダの重要な農産物です。手しおにかけて育て、手で収穫、完全洗浄、天日乾燥、一粒一粒を手で選別します。コーヒー栽培に適した自然環境と丁寧な作業が最高品質のグリーンビーンズ(生豆)を生み出します。 バランスのとれた柔らかみのある柑橘系の酸味と甘味、クリーミーなコクが特徴です。
保存方法	常温
発注方法	メール： info@rwanda-npo.org ※ 発注後4～5日後納品 送料込み

商品名 ルワンダ マラバ コーヒー			
200g	1個	1,200円	最小購入回数 5個
300g	1個	1,800円	最小購入回数 5個
500g	1個	3,000円	最小購入回数 2個



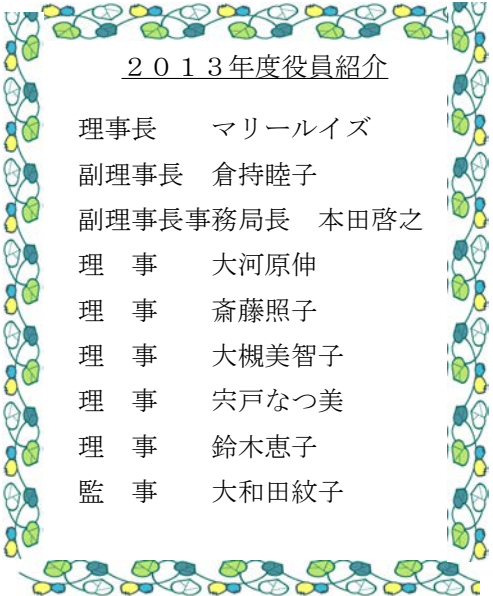


2013年5月19日（日）に福島市働く婦人の家にて、総会が開催されました。

ここに2012年度の決算を報告いたします。

皆様の支援のおかげで、ウムチョムウイーザ学園では、2012年末には6回目の卒業生を送り出すことができました。全員国家試験に合格し、各地の中学校に入学することが出来ました。初めての卒業生は高校3年に進級するまでになりました。今後の進路が楽しみです。

昨年は特に、東日本大震災復興支援の一つとして、二本松の仮設住宅で浪江町から避難されている方々とルワンダカフェを継続的に開催して、次の出会いをお互いに楽しむまでに親交が深まってきました。総会にて、人権の擁護または平和の推進を図る活動の一環としてささやかですが今後も継続して取り組みことを確認しました。ルワンダと浪江町の昔話やルワンダ語遊びなど異文化ならではの楽しい交流も企画していきたいと考えています。



2013年度役員紹介

- 理事長 マリールイズ
- 副理事長 倉持睦子
- 副理事長事務局長 本田啓之
- 理事 大河原伸
- 理事 斎藤照子
- 理事 大槻美智子
- 理事 宍戸なつ美
- 理事 鈴木恵子
- 監事 大和田紋子

スタッフ 飯館村出身の
佐藤俊雄です。
よろしくお願ひします。
原則として月曜日
午前10時～16時事務所勤務



2012年度会計報告

【収入の部】

項目	金額	備考
講演活動	3,077,093	講演67回
物品販売	1,364,002	コーヒー・紅茶・民芸品販売
イベント収益	65,000	ルワンダ DAYin ふくしま他
会費	500,000	正会員 5000円×100人
	550,000	賛助会員 10000円×55人
助成金	50,000	東日本大震災関連
寄付金	7,703,323	1円から毎月25万円まで
500円寄付	103,500	8月から開始
奨学金	11,000	学園卒業生への支援
絵本収益	51,075	中地様より売上げ分寄付
ソーラー寄付	21,000	頻発する停電に対応
給食プロジェクト	700,000	新潟の皆様より
募金	80,707	ルワンダフルクリスマスキャンペーン他
雑収入	192	銀行利子
繰越金	615,478	前年度より
計	14,892,370	

【支出の部】

項目	金額	備考
事業費	9,639,048	学園への援助・民芸品の仕入 国際電話・コンサート等
管理費	3,580,497	家賃・給料手当・通信費等
計	13,219,545	

【残高】

1,672,825円を2013年度へ繰り越します。

現地「ADESOC」を支援する団体「ルワンダの教育を考える会」としてウムチョムウイーザ学園への継続的な支援及び学園卒業後貧しくて進学を諦めざるをえない子ども達を将来にわたって見守り奨学金として支援していきたいという方針を採択しました。また、新潟の藤田様を中心に、学園への給食プロジェクトを完成し栄養状態の改善に努めていく予定です。

さらに、昨年度から継続して「ウムチョ職業能力開発校・水環境学科設立事業」支援を日本の専門家と共に模索していくことを総会で承認されました。

これらの事業を継続して行うために、ご理解のうえ寄付及び活動への参加等さらなるご協力をお願いいたします。

ルイズさんの言葉に魅せられ助けられて

新理事 鈴木恵子



私は双葉郡広野町から、原発避難者として福島市に来て一人暮らしをしています。広野町では90歳の姑と3歳年上の夫と3人で、長年の夢をかなえた築12年の十分過ぎる広さの家に住んでいた。ところが、突然、意味の解らない強制避難により、10ヶ所を転々と移動し、福島市に落ち着いた。



私は、自宅で「着付け教室」を開校していて、その縁で福島県国際交流協会の賛助会員となり、外国の方に着物文化を紹介したり、日中友好活動に参加したり、さらにはベラルーシの子ども達の里親受け入れをするなど、この20数年、誇りとできる活動をしてきました。しかし、避難により生徒達も各地に散らばったため、教室は続けられず閉校。加えて、避難が始まってすぐに、スポーツを楽しむ元気な姑がショック死するなど、しばらく虚無感というか、

無気力・無意識の状態に……

「ルワンダの教育を考える会」の会員として登録していた私に、ルイズさんが手を差し伸べてくれたのはそのような状態の時でした。「鈴木さんの町の仮設住宅を慰問したい」と……そこから仮設住宅の慰問が始まった。

ルイズさんは「私は母国の内戦で全てを無くしたけれど、こうして命があることに感謝している。それは自分と家族を助けてくださった日本の皆さんのおかげです。私の使命は、ルワンダと日本の架け橋になって仕事をする事です。今私に出来ることは、被害に遭われた皆さんと、いつか避難のことを忘れて、お茶を飲みながらおしゃべりをし、楽しい時間をつくる事。そして、ルワンダの人達も日本の事をととても思っていて、メッセージの寄せ書きを私に託してくれたことを伝えるために、慰問をしている」と話してくれた。

広野町は帰還できるようになり我が家に戻ったのもつかの間夫も相次いで旅立ち、町もインフラが整わず人々が戻れる状態にはなく寂しい思いの中、ルイズさんに元気をもらった私は、仮設住宅訪問に加われば、「もしかしたら散り散りになった友人の消息もわかるかも知れない」と思い、慰問ボランティアに加えていただいた。

そして今年、横浜で4年に一度のアフリカと日本の国際会議が開催された。そこに私はボランティアとして参加。この歳(65歳)になってアフリカの文化を一つでも学べた喜びは、おおいに自慢したい(頭と体の老化はつらかったけど。)

このような出会いから、遠ざかっていた私の国際交流活動が再開された。

母親の死と、避難の辛苦のストレスから旅立った夫も、遺影の笑顔から「恵子 良かったな、素晴らしい人たちと交流を続けることが出来て、頑張り！！ 見てるぞ」と言っている。と思う。この流れで、私は「ルワンダの教育を考える会」の理事になりました。

今後は、会を盛り立て、出来る協力をしながら、ルワンダの、そして私自身の再起に努力したいと思います。



ルワンダDAY in 福島

感謝の心をこめて
1年間の当会の
活動報告

ルイズの講演&ほのぼのコンサート
7月15日(月祝)開催
三春町国際交流館ライスレイクの家

入場無料

音楽療法士
紺野由香里さんと
ピアニスト本多裕子
さんによる
元気のでる
コンサート!!

◎12:00 ルワンダ料理
○13:30 ルイズ講演
○14:30 ほのぼのコンサート



みんな元気に!

広告協賛金募集中
1件5,000円

☆各種振替口座番号のご案内です!☆

会費振込・寄付・募金(奨学基金もよろしくお願ひします。)

郵便振替口座:02290-0-97126

加入者名:NPO法人 ルワンダの教育を考える会



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在26名登録

ソーラー発電...ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座:02200-2-77634

加入者名:ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を
随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

—編集後記—

梅雨に入り、庭の梅を収穫し伊達市
で測ってもらったら、セシウム137が
5.9Bq/kg検出されました。

あさがおの芽もたくさん
顔を出し今年もエコカーテン
に成長しそう。孫も成長し家
族の絆はより深まったような
気が.....



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 カバ'ガ・マリルズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org

